01 商品と追加機能

基本セット＋SMC・節目の自動表示

コマ式2026 基本セットの7本に、SMC_KeyLevels_Master.ex4を加えた8本構成です。FVG・OBと主要な相場の節目をMT4チャートに表示し、FVG・OBの新規成立を確定足で通知できます。

基本セットに加わる機能	表示内容
SMC FVG	3本足の間にできる価格の隙間を矩形表示。
SMC OB	指定本数の同方向足で直前の逆方向足を突破した領域。
日足・週足の節目	前日高安、当日始値、今週始値。
デイリーPivot	前日の高値・安値・終値からPP、R1-R3、S1-S3。
セッション・キリ番	アジア/NYの高安、設定間隔のラウンドナンバー。

商品仕様

商品名：コマ式2026 SMC統合セット。指定販売価格：19,800円。口座番号制限・署名付き有効期限180日。内部の商品コードはshioji / 0x0Aを維持します。

このセット用キー1本で、同梱の基本セットとSMCを利用する構成です。基本セット用キーだけではSMCを利用できません。キーは別途発行され、ZIPには同梱しません。

02 導入と口座認証

1. インジケーターを配置する

利用するMT4で「ファイル → データフォルダを開く」を選びます。ZIP内のMQL4/IndicatorsにあるEX4を、開いたフォルダーのMQL4/Indicatorsへコピーしてください。同名の既存ファイルと設定は、先に別フォルダーへ退避してください。

基本セットは7本、SMC統合セットは8本です。EX4はIndicators直下に置き、ナビゲーターで更新するかMT4を再起動します。購入者用ZIPにはソースや秘密鍵を含めていません。KomaAuth.mqhのコピーやWebRequestの登録は不要です。

2. 口座専用キーを設定する

登録した口座番号のKOMA2-で始まるキーを使います。別口座、別商品、期限切れ、署名不正のキーは認証されません。認証はWindowsのCryptoAPIを使用するため、提供元を確認した正規EX4でDLLの使用が許可された環境が必要です。

セット全体で使う場合は、MT4のデータフォルダーから上位のTerminalへ進み、Common/Files/koma_license.txtを作成します。内容はキー全文だけにしてください。キー入力欄のあるインジケーターはLicenseKeyを空にします。補助インジケーターも同じファイルを参照します。

karrows6はKMACD2とKoma_NagiRSIを内部参照します。karrows6のLicenseKey欄だけに入力しても、すべての補助が認証されるわけではありません。複数のMT4で同じ共有ファイルを利用する場合も、各端末の口座番号とキーの対応を確認してください。

3. 180日と更新の扱い

利用期限はSHOPが発行したキー内の署名付き日時で判定します。インストール日から180日を数え直す仕組みではありません。発行側の180日設定に従い、更新後は新しいキーに差し替えます。購入日と発行日の起点の扱いは、正式な販売案内で確認してください。

03 基本セットの使い方

方向・タイミングを分けて確認する

keltnerKN3c_004で計算時間足とトレンド表示を確認し、Koma_NagiRSIで選んだ時間足の状態を確認します。karrows6やKstarV4の表示は補助情報として読みます。色や矢印だけで注文が自動実行されることはありません。

最初に確認する設定

項目	確認すること
KN3cのTimeFrame	既定はM30。M1計算を意図する場合はM1を指定。
凪RSIのTimeFrame	0は現在足。上位足を選んだときは、その足の形成状態も確認。
KstarV4のTimeFrame	現在足か上位足かを確認。必要な履歴が揃うまで待つ。
karrows6の補助	KMACD2・Koma_NagiRSIを同じIndicators直下に保持。

karrows6の内部計算はKoma_NagiRSIを現在のチャート時間足で参照します。別ウィンドウに表示した凪RSIのMTF設定は、karrows6へ自動連動しません。旧Laguerreファイルは同梱・参照しません。

表示の変化について

KstarV4は中心化TMAを使うため、過去の星や値が変わることがあります。ZigZagも頂点が更新され得ます。凪RSI・KN3cの上位足設定では、上位足が形成中かどうかにも注意してください。セット全体を「完全非リペイント」とは扱いません。

通知を使う場合

karrows6と凪RSIは、alertsOnが通知全体、alertsMessageがポップアップ、alertsNotifyがプッシュ、alertsEmailがメールです。プッシュ・メールにはMT4側の送信設定も必要です。Kstarの表示変化と確定通知の意味を混同しないでください。

04 SMC・節目の設定

FVG・OBの設定

設定名	内容・初期値
ShowFVG / ShowOB	各矩形の表示。初期値true。
MinFvgPips	最小FVG幅。初期値1.0。pips換算は桁数に従う。
DeleteMitigated	初期値true。ギャップが完全に埋まったFVGを削除。
ImpulseBars	OBを判定する同方向足数。初期値2。
LookbackBars / BoxExtendBars	走査250本／右へ延長15本が初期値。

水平線・セッションの設定

ShowDailyWeekly、ShowPivot、ShowSessions、ShowRoundNumbersで表示を切り替えます。RoundStepGoldはGOLD/XAUを含む銘柄の価格刻みで初期値50.0、RoundStepForexはその他銘柄のpips刻みで初期値50.0です。銘柄仕様に合わせて確認してください。

セッション時刻は日本時間ではなくブローカーのサーバー時間です。初期値はアジア0-8時、NY13-21時。夏冬時間の自動補正はありません。セッション表示はH1以下で有効です。日付をまたぐ設定や、当日限定の厳密なセッション集計はこの版では保証していません。

描画が消える・動く理由

FVGは埋め戻されると消えます。OBは下限/上限を終値で否定されると消えます。形成中の足でも描画が消える場合があり、履歴走査範囲から外れたものは表示されません。セッション高安やキリ番の表示も価格に応じて更新されます。

05 確定アラート

確定アラートが意味するもの

FVGは直近3本の確定足で新しくギャップが成立したとき、OBは指定したImpulseBarsの最後の足が確定して条件を満たしたときに通知します。これは「領域の成立通知」です。領域への接触通知や、コマ式の全エントリー条件が揃った通知ではありません。

設定名	初期値・動作
AlertPopup	true。MT4内のポップアップ。
AlertPush / AlertEmail	false。利用時はMT4側の送信設定も必要。
AlertFVG / AlertOB	true。各種類の成立通知を有効化。
ShowFVG / ShowOB	対応する表示をfalseにすると、その種類の通知も停止。

通知のタイミングと重複

足の確定は、次の足に最初のティックが届いた時点で検出します。導入直後や再初期化時に過去分をまとめて送らず、同一足で繰り返し通知しません。同じ確定足でFVGとOBが成立すると、それぞれ1件ずつ通知されます。

通知後に領域が消えた場合

通知は成立時点の記録です。その後の埋め戻しや否定で矩形が消えることと矛盾しません。通知文の時刻はサーバー時間です。タイマーだけでは新規足を検出せず、計算が呼ばれるティックを待ちます。

基本セットと組み合わせる

コマ式の方向・状態表示と、SMCの領域・水平線を重ねて観察します。SMC通知だけで自動発注されることはありません。Kstar・ZigZagの過去表示変化と、SMCの確定形成判定は別の性質です。

06 困ったとき

表示されないときの確認順

症状	確認・対処
キー未設定・形式不正	共有ファイル名・保存場所・キー全文を確認。コピー欠けを修正。
別口座用と表示	MT4のログイン口座と登録口座を照合。正しいキーを使用。
別商品用と表示	基本セット用かSMC統合セット用か確認。
期限切れ	更新手続き後、新キーへ差し替える。
DLL・初期化エラー	正規EX4の出所とDLL利用条件を確認。認証回避は行わない。
線や矢印が出ない	対象MT4・ファイル名・補助ファイル・価格履歴・時間足を確認。

導入後のチェック

口座と認証期限、計算時間足、再起動・時間足切替後の表示を確認します。共有キーを更新したあとに表示が復帰しない場合は、対象インジケーターを再適用してください。

問い合わせ時に伝える情報

商品名、ファイル版、MT4のビルド、銘柄、チャート時間足、各TimeFrame設定、エラーメッセージの種類を記録してください。ライセンスキー全文、口座パスワード、個人情報は公開しないでください。

この版の状態

2026-10-29 販売開始前確認版。基本ロジックは礎r4候補を継承しています。認証の試験範囲と合否、実MTF・描画・負荷等の未確認事項は運営向け記録で管理します。この資料は商品紹介の公開と販売開始を分けて管理する版です。